



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 大研医器株式会社

コード番号 7775 URL <https://daiken-iki.co.jp>

代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）山田 圭一

問合せ先責任者（役職名）取締役副社長経営管理本部長（氏名）山田 雅之 TEL 06-6231-9917

半期報告書提出予定日 2025年11月4日 配当支払開始予定日 2025年12月1日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	5,057	2.9	676	△19.2	674	△19.3	511	△15.9
2025年3月期中間期	4,914	1.9	836	12.3	836	11.5	608	13.2

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	17.82	—
2025年3月期中間期	21.19	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	10,828	7,625	70.1
2025年3月期	11,181	7,515	66.9

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 7,594百万円 2025年3月期 7,484百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	9.00	—	14.00	23.00
2026年3月期	—	9.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	11.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	5.5	1,010	△33.2	1,000	△33.8	700	△36.2	24.37

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 中間財務諸表及び主な注記 (4) 中間財務諸表に関する注記事項 (中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期中間期	31,840,000株	2025年3月期	31,840,000株
-------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年3月期中間期	3,111,563株	2025年3月期	3,111,563株
-------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年3月期中間期	28,728,437株	2025年3月期中間期	28,728,437株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
3. 補足情報	9
生産、受注及び販売の実績	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により、緩やかな景気回復の動きが見られました。しかしながら、物価上昇の継続による個人消費マインドの下振れ、アメリカの通商政策による収益圧迫など、企業を取り巻く環境は依然として先行き不透明な状況が続いております。

また、当社を取り巻く事業環境は、物資の高騰や医療従事者の慢性的な人手不足等、各医療機関の経営環境はより一層厳しさが増してきており、医療現場においてより効率的で効果的な医療サービスを提供できるような製品供給体制が望まれております。

このような状況のもと、当社は、高品質製品の常時安定供給を優先事項と掲げ、医療現場と密着した営業活動の推進、品質を確保しながらもコスト競争力をもった生産体制の構築並びに独創的な製品の研究開発活動の強化に取り組んでまいりました。

当中間会計期間の経営成績の分析は次のとおりであります。

① 売上高

売上高は、5,057百万円(前年同期比2.9%増)となりました。これは主として、フィットフィックス(吸引器関連)及びクーデックエイミーPCA(注入器関連)の販売が好調に推移したこと等によるものです。

② 営業利益

営業利益は、676百万円(前年同期比19.2%減)となりました。これは主として、売上高が増加したものの、材料コストの上昇による売上総利益の減少及び、研究開発費の増加により販売費及び一般管理費が増加したこと等によるものです。

③ 経常利益

経常利益は、674百万円(前年同期比19.3%減)となりました。これは主として、営業利益が減少したこと等によるものです。

④ 中間純利益

中間純利益は、511百万円(前年同期比15.9%減)となりました。これは主として、経常利益が減少したこと等によるものです。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産

流動資産は、前事業年度末に比べて446百万円減少し、6,538百万円となりました。これは主として、製品が140百万円、電子記録債権が140百万円それぞれ増加したものの、現金及び預金が684百万円、受取手形及び売掛金が52百万円、それぞれ減少したこと等によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて93百万円増加し、4,289百万円となりました。これは主として、有形固定資産が86百万円増加したこと等によるものです。

② 負債

流動負債は、前事業年度末に比べて287百万円減少し、2,542百万円となりました。これは主として、電子記録債務が19百万円増加したものの、短期借入金が100百万円、未払金(流動負債「その他」)が87百万円、1年内返済予定の長期借入金が59百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べ175百万円減少し、659百万円となりました。これは主として、長期借入金184百万円減少したこと等によるものです。

③ 純資産

純資産は、前事業年度末に比べて109百万円増加し、7,625百万円となりました。これは主として、利益剰余金が剰余金の配当により402百万円減少したものの、中間純利益を511百万円計上したことによるものです。

④ キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べて684百万円減少し、2,311百万円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、213百万円(前年同期260百万円減)となりました。これは主として、税引前中間純利益を674百万円、減価償却費を124百万円それぞれ計上したものの、法人税等の支払額177百万円、及び棚卸資産の増加126百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、147百万円(前年同期比71百万円増)となりました。これは主として、有形固定資産の取得により143百万円支出したこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は749百万円(前年同期は20百万円の獲得)となりました。これは主として、配当金を401百万円支払い、長期借入金を244百万円返済し、短期借入金100百万円減少したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間会計期間の業績は、本日同時に開示しております「2026年3月期第2四半期(中間期)個別業績予想との差異に関するお知らせ」に記載のとおり、売上高全体としては若干未達であったものの、採算性の高い製品の売上が好調に推移したことによるセールスマックスの改善ならびに想定よりも製造原価の上昇を抑えられたことによる売上総利益の増加、さらに研究開発費や販促費等の下期へのずれ込みにより、営業利益、経常利益、当期純利益ともに上振れいたしました。通期では円安進展に伴う製造原価の上昇懸念や研究開発費や販促費等についても予定通りの発生となる見込みであることから、現時点では、2025年3月期決算短信(2025年5月15日公表)に記載いたしました通期業績予想に変更はありません。今後の業績動向により、変更が必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位: 千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,995,993	2,311,818
受取手形及び売掛金	1,177,711	1,125,569
電子記録債権	1,293,656	1,433,827
製品	914,556	1,054,821
仕掛品	102,094	79,112
原材料	413,414	422,412
その他	87,682	111,111
貸倒引当金	△94	△94
流動資産合計	6,985,015	6,538,578
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,706,701	1,664,016
土地	1,703,670	1,703,670
その他(純額)	520,864	650,506
有形固定資産合計	3,931,237	4,018,193
無形固定資産	12,888	11,614
投資その他の資産		
繰延税金資産	183,525	188,660
その他	93,063	95,726
貸倒引当金	△24,650	△24,650
投資その他の資産合計	251,937	259,735
固定資産合計	4,196,063	4,289,543
資産合計	11,181,079	10,828,122

(単位:千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	542,868	514,739
電子記録債務	510,186	530,142
短期借入金	720,000	620,000
1年内返済予定の長期借入金	480,033	420,039
未払法人税等	198,032	189,828
未払費用	69,930	72,094
その他	308,933	196,132
流動負債合計	2,829,984	2,542,975
固定負債		
長期借入金	818,390	633,398
その他	16,717	26,070
固定負債合計	835,107	659,468
負債合計	3,665,091	3,202,443
純資産の部		
株主資本		
資本金	495,875	495,875
資本剰余金	400,875	400,875
利益剰余金	8,414,446	8,524,138
自己株式	△1,826,584	△1,826,584
株主資本合計	7,484,611	7,594,303
新株予約権	31,375	31,375
純資産合計	7,515,987	7,625,679
負債純資産合計	11,181,079	10,828,122

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	4,914,159	5,057,708
売上原価	2,836,242	3,089,049
売上総利益	2,077,917	1,968,659
販売費及び一般管理費	1,241,221	1,292,629
営業利益	836,696	676,029
営業外収益		
受取利息	0	55
受取手数料	543	555
受取補償金	440	348
受取保険金	1,818	762
為替差益	—	1,861
未払配当金除斥益	481	333
スクラップ売却益	315	—
雑収入	278	158
営業外収益合計	3,878	4,076
営業外費用		
支払利息	3,431	5,473
その他	799	—
営業外費用合計	4,231	5,473
経常利益	836,343	674,632
特別利益		
新株予約権戻入益	202	—
特別利益合計	202	—
特別損失		
固定資産除却損	97	0
特別損失合計	97	0
税引前中間純利益	836,448	674,632
法人税等	227,621	162,742
中間純利益	608,827	511,890

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	836,448	674,632
減価償却費	113,443	124,833
受取利息及び受取配当金	△0	△55
新株予約権戻入益	△202	—
支払利息	3,431	5,473
売上債権の増減額(△は増加)	△21,644	△88,029
棚卸資産の増減額(△は増加)	56,207	△126,280
仕入債務の増減額(△は減少)	△40,748	△77,756
固定資産除却損	97	0
未収入金の増減額(△は増加)	△6,217	△17,075
未払金の増減額(△は減少)	△164,127	△78,484
未払費用の増減額(△は減少)	2,845	2,163
未払又は未収消費税等の増減額	△43,062	△28,633
その他	△26,504	5,773
小計	709,967	396,559
利息及び配当金の受取額	0	—
利息の支払額	△4,193	△5,306
法人税等の支払額	△232,297	△177,889
営業活動によるキャッシュ・フロー	473,476	213,363
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△74,882	△143,348
無形固定資産の取得による支出	△1,199	△1,511
差入保証金の差入による支出	△128	△2,861
差入保証金の回収による収入	175	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△76,035	△147,712
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	750,000	—
長期借入金の返済による支出	△219,986	△244,986
配当金の支払額	△344,886	△401,885
短期借入金の純増減額(△は減少)	△160,000	△100,000
リース債務の返済による支出	△4,937	△2,954
財務活動によるキャッシュ・フロー	20,189	△749,825
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	417,631	△684,174
現金及び現金同等物の期首残高	2,739,141	2,995,993
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,156,773	2,311,818

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

当社の事業は、医療機器等の製造販売及びこれらの付随業務の単一セグメントであるため、生産、受注及び販売の実績につきましては、当社の製品群別に記載しております。

① 生産実績

製品群	生産高(千円)	前年同期比(%)
吸引器関連	2,064,291	+18.4
注入器関連	760,508	+5.9
電動ポンプ関連	65,859	+79.1
手洗い設備関連	127,027	△1.6
その他	138,694	+21.7
合計	3,156,381	+15.2

(注) 金額は製造原価によっております。

② 受注実績

当社は、見込生産を行っているため、該当事項はありません。

③ 販売実績

製品群	販売高(千円)	前年同期比(%)
吸引器関連	3,243,278	+2.9
注入器関連	1,140,748	+2.5
電動ポンプ関連	90,835	△14.0
手洗い設備関連	287,064	△3.2
その他	295,781	+20.3
合計	5,057,708	+2.9